

# 学力向上実践研究 推進地区の取組内容

## 御所市教育委員会

### 1. 重点課題への取組状況

平成19年度から実施された全国学力・学習状況調査の結果の分析から、学力面では、知識を主としたA問題において年々学力は向上してきている。しかし、活用を主としたB問題においては、全国、県平均との差が大きく無解答率も高い。また、児童質問紙の結果から、自己を認める、成就感を味わう、将来への展望をもつ等自己を肯定的に捉える意識が低い傾向にある。

上記のような状況と新学習指導要領の趣旨を踏まえながら、本推進地区において

- ・思考力、判断力、表現力を育成する授業づくり
- ・思考力、判断力、表現力の評価方法の確立

を重点課題として取り組んだ。

#### (1) 思考力、判断力、表現力を育成する授業スタイルの確立

##### ① 各校の実態把握による課題の分析

大正小学校 児童の学習規律の定着と学習意欲の向上

教職員の言語活動の捉え、系統性、授業構成等の研究

名柄小学校 読み取る力の向上

思考力、判断力、表現力の評価方法

児童の学習意欲を向上させる指導方法の工夫

##### ② 言語活動の充実を図るための、授業におけるペア・グループ学習の在り方

大正小学校 ペア・グループ学習を基本とした学習形態の在り方

名柄小学校 授業におけるペア・グループ学習の効果的な活用

#### (2) 指導主事等外部指導者と連携した研究

##### ① 2校共通の外部指導者の招へい

一人一人の児童の考えや思いを引き出す指導法の研究

小畑公志郎（元宝塚市立小学校長）

##### ② 追究課題ごとの多彩な外部指導者の招へい

県・市指導主事

安藤輝次（奈良教育大学教授）

粕谷貴志（奈良教育大学准教授）

#### (3) 授業カンファレンスによる授業研究と教材開発

授業研究 全員参加 10回

グループ 10回

教材・教具の開発、学習環境の充実

多目的ホールを活用した学びランドの設置

#### (4) 研究成果の発信

大正小学校 学力向上実践研究 研究発表会を開催

日時 平成23年11月19日（火）

16学級（全学級）授業公開

全体会における研究実践発表

名柄小学校 平成23年度奈良県学力向上フォーラムにおいて

「自ら学ぶ子どもを育てる授業の創造」をテーマに実践発表

教育委員会 平成23年度奈良県学力向上フォーラムにおいて

「推進校がつなぎ・広げる学びの創造」をテーマにシンポジウムで報告

## 2. 調査研究の成果及び今後の課題

### (1) 研究の成果

#### ① 各推進校における県学力診断テスト等の数量的観点別把握と結果分析

P D C Aサイクルによる検証も推進校において定着しており、県学力診断テストやアンケート調査等を活用し、数量的観点別把握と結果分析を行い、その改善に取り組んでいる。

まだ数学的思考力では県平均と比較して低い状況にあるが、

- ・授業では自分の考えを発表する機会が与えられているか
- ・授業では話し合う活動を行っているか
- ・人に説明したり文章に書いたりするのは難しいか

では、肯定的に捉えている児童の割合が高くなっている。

またこの取組によって、思考力の分析では、中位層の児童の成長が著しいことが明らかになった。

#### ② 研究発表会、研修会等での発表

研究発表会や学力向上フォーラムでの研究発表、公開授業の後の参加者との意見交換会を通して研究の成果を整理するとともに、取組について多角的な観点からの意見を聴くことができた。

#### ③ P D C Aサイクルによる検証

検証により課題や改善点が明確になり、学力向上へのより具体的な取組が示されることにより教職員の実践へのモチベーションを高めることにつながった。

### (2) 今後の課題

推進校2校が取り組んだ思考力、判断力、表現力を育成する授業づくり、思考力、判断力、表現力の評価方法の確立は、まだ取組を始めたばかりである。今年度の検証をもとにさらに取組を進めていきたい。

また、今後推進校2校の研究の成果を市内の学校に伝達し、御所市全体で学力向上に取り組んでいきたい。